

令和4年度 環境部組織目標

組織名	環境部	部長	環境部長 木山 浩
組織の目的・方向性	本市の豊かな自然環境・田園環境を守り、次世代に引き継いでいくため、SDGsの視点を踏まえながら、市民・事業者の皆さまと協働で、温室効果ガスの削減やごみの減量、リデュース・リユースなど、脱炭素社会・循環型社会に向けた取り組みを推進し、「田園と都市が織りなす環境健康都市」の実現に努めます。		

環境部組織目標

環境部では、市域の温室効果ガス排出量を削減する「地球温暖化対策実行計画（地域推進版）」の推進に取り組むとともに、市役所自らの対策を推進します。

また、良好な環境の保全、3R（リデュース・リユース・リサイクル）の優先順位に従い廃棄物の減量と適正処理を進めるとともに、安定かつ効率的な処理体制を構築します。

この方針のもと、今年度は、次の5つの目標に重点的に取り組みます。

重点目標

- 1 新潟市地球温暖化対策実行計画（市役所率先実行版）の目標達成に向けた取り組みを推進します。
- 2 持続可能な汚水処理を推進するため、下水道との役割分担に基づき合併処理浄化槽の普及に努めます。
- 3 脱炭素化や3Rの推進など、環境課題の解決に向けて積極的に取り組む事業者などを支援します。
- 4 廃棄物処理施設の更新・統合により、安定かつ効率的な処理体制を構築します。
- 5 高濃度PCB廃棄物等の期限内処理に向け、取り組みを強化します。

※重点目標における指標や取組状況は、各課組織目標をご覧ください。

評価

	重点目標の達成状況	目標数	5	達成数	5
取組結果	【重点目標1】 計画の目標とする市の事務事業に伴う温室効果ガス削減率については、夏・冬の電力ひっ迫に伴う電力消費量の減少により大幅に削減されたことから、目標達成が見込まれます。				
	【重点目標2】 下水道整備区域外の市民に対し、浄化槽設置の補助を行い、目標を達成しました。				

	<p>【重点目標 3】 環境優良事業者等認定制度の認定事業者（所）数は、多くの申請があり目標を大きく上回りました。</p> <p>【重点目標 4】 新焼却施設整備事業については、PFI 導入可能性調査及び庁内推進検討会議等を経て事業方式を決定するとともに、環境影響評価に係る周辺環境調査を完了し準備書案を作成しました。</p> <p>【重点目標 5】 令和 5 年 3 月末が処理期限の高濃度 PCB 廃棄物等の保有事業者に対し、計画的に電話・訪問を行い、期限内の処分契約にむけた指導を行いました。また、9 月には高濃度 PCB 使用安定器の保有者に対して個別説明会を開催し、契約手続きの進捗を図りました。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">今後の方向性</p>	<p>【重点目標 1】 今後も、ゼロカーボンシティ実現のため見直した計画目標の達成に向け、徹底した省エネルギーの推進と、再生可能エネルギーのさらなる導入に取り組んでいきます。</p> <p>【重点目標 2】 浄化槽設置の補助要望数を把握し、十分な予算の確保を図るとともに、合併処理浄化槽の普及に努めます。</p> <p>【重点目標 3】 事業者のさらなる意識向上を図るため、環境課題に積極的に取り組む事業者を支援します。</p> <p>【重点目標 4】 新焼却施設整備では、事業者評価委員会の設置及び評価方法の検討を行うとともに、環境影響評価にかかる評価書手続きを行います。</p> <p>【重点目標 5】 新たに発見された高濃度 PCB 使用安定器については、計画的処理完了期限内で速やかに処分委託契約が締結できるよう、指導・支援を行います。</p>